

NYマーケットレポート (2016年11月23日)

NY市場では、序盤に発表された米耐久財受注が市場予想を大幅に上回る結果となり、昨年10月以来の大きな増加率となったことや、ミシガン大学消費者信頼感指数が5月以来半年ぶりの高水準となったことを受けて、米国の今後の利上げペースが速まるとの観測から、ドルが主要通貨に対して堅調な動きとなった。また、米債券利回りが上昇したことや、ダウ平均株価が最高値を更新する動きとなったことから、円が主要通貨に対して売られ、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。特に、ドル/円は3月29日以来、豪ドル/円は4月28日以来の高値を付ける動きとなった。ただ、終盤にかけては、上値の重い動きが続いた。

2016年11月23日 (水)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	111.05	111.18	110.87
EUR/JPY	117.96	118.14	117.92
GBP/JPY	137.80	138.12	137.54
AUD/JPY	82.59	82.63	82.17
EUR/USD	1.0624	1.0644	1.0619

LONDON	高値	安値
USD/JPY	111.26	110.97
EUR/JPY	118.15	117.73
GBP/JPY	137.84	137.29
AUD/JPY	82.65	82.39
EUR/USD	1.0637	1.0600

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	112.50	112.98	111.26
EUR/JPY	118.70	118.99	118.00
GBP/JPY	139.96	140.35	138.15
AUD/JPY	83.09	83.48	82.52
NZD/JPY	78.83	79.10	78.43
EUR/USD	1.0552	1.0614	1.0527
AUD/USD	0.7387	0.7420	0.7373

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	19083.18	+59.31
S&P500	2204.72	+1.78
NASDAQ	5380.68	-5.67
日経225 (CME)	18425	+215
トロント総合	15080.91	-19.47
ボルサ指数	45184.08	+315.31
ボベスパ指数	61985.91	+31.43

11/24 経済指標スケジュール

09:00	【シンガポール】3Q GDP
14:00	【日本】9月景気一致CI指数
14:00	【日本】9月景気先行CI指数
16:00	【ドイツ】3Q GDP
16:45	【フランス】11月企業景況感指数
16:45	【フランス】11月生産アウトルック指数
17:00	【スウェーデン】11月消費者物価指数
17:15	【スイス】3Q鉱工業生産
17:30	【スウェーデン】10月生産者物価指数
17:30	【香港】10月貿易収支
18:00	【ドイツ】11月IFO[景気動向]
18:30	【南アフリカ】10月生産者物価指数
18:30	【英国】10月BBA住宅ローン承認件数
20:00	【トルコ】政策金利発表
20:30	【トルコ】11月経済信頼感指数
20:30	【トルコ】11月設備稼働率
21:00	【ドイツ】12月GfK消費者信頼感調査
22:15	【南アフリカ】政策金利発表(時間不確定)
23:00	【メキシコ】9月小売売上高
02:00	【フランス】10月求職者数合計

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1189.30	-21.90
NY 原油	47.96	-0.07
CME コーン	359.25	+0.25
CBOT 大豆	1034.25	+4.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.131%	1.089%
3年債	1.401%	1.344%
5年債	1.835%	1.778%
7年債	2.164%	2.114%
10年債	2.357%	2.316%
30年債	3.022%	3.005%
ドイツ10年債	0.262%	0.221%
英国10年債	1.449%	1.362%

11/24 主要会議・講演・その他予定

・米市場休場

NY 市場レポート

21 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

米 MBA 住宅ローン申請指数 (前週比) 5.5% (前回 -9.2%)



出所 : Bloomberg

指標結果データ

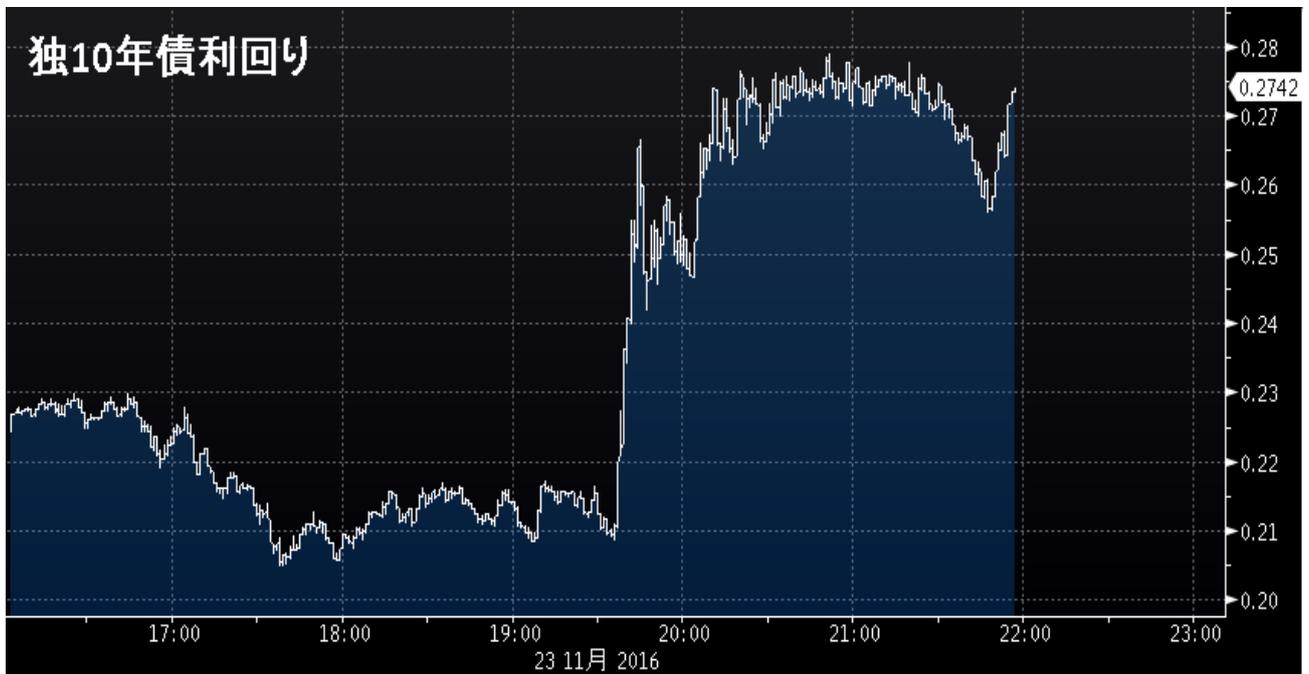
◀MBA 住宅ローン申請指数▶

	11/18	11/11	11/4	10/28	10/21	前年同期
申請指数	5.5	-9.2	-1.2	-1.2	-4.1	9.6
購入	18.8	-6.2	1.4	-0.4	-6.9	10.6
借換え	-3.1	-10.9	-2.7	-1.6	-2.3	8.8
固定金利	5.0	-9.4	-1.2	-1.4	-4.3	11.0
変動金利	16.3	-4.1	-0.7	3.5	-0.1	-10.5

固定金利 30年	4.16	3.95	3.77	3.75	3.71
固定金利 15年	3.35	3.15	3.03	3.04	3.01

《ポイント》

ECB（欧州中央銀行）が市場の逼迫を防ぐために債券の貸し出しを増やすことを検討しているとの報道を受けて、欧州債市場でドイツ国債が下落（利回り上昇）に転じた。



21 : 45

英政府は、2017年の経済成長率予測を従来2.2%から1.4%に、2018年は2.1%から1.7%に下方修正。

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

米新規失業保険申請件数 25.1 万件 (予想 24.8 万件・前回 23.3 万件)
 前回発表の 23.5 万件から 23.3 万件に修正

米失業保険継続受給者数 204.3 万人 (予想 201.4 万人・前回 198.3 万人)
 前回発表の 197.7 万人から 198.3 万人に修正



出所 : Bloomberg

経済指標データ

◀ 新規失業保険申請件数・継続受給者数 ▶

申請件数	前週比	4 週移動平均	受給者数	受給者比率
16/11/12	+18,000	251,000	2,043,000	1.5%
16/11/05	-12,000	260,000	1,983,000	1.4%
16/10/29	+7,000	258,250	2,043,000	1.5%
16/10/22	-2,000	253,250	2,030,000	1.5%
16/10/15	+14,000	252,000	2,040,000	1.5%
16/10/08	+1,000	249,500	2,054,000	1.5%
16/10/01	-8,000	252,750	2,050,000	1.5%
16/09/24	+3,000	256,000	2,062,000	1.5%
16/09/17	-9,000	258,250	2,064,000	1.5%
16/09/10	+1,000	260,750	2,108,000	1.5%
16/09/03	-4,000	261,250	2,149,000	1.6%

受給者数は集計が 1 週間遅れる

米失業保険申請件数は、前週比+1.8 万件の 25.1 万件となり、3 週ぶりに増加した。節目となる 30 万件を 90 週連続で下回っている。申請件数の 4 週移動平均は、前週比 - 0.2 万件の 25.1 万件。また、集計が 1 週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比+6.0 万人の 204.3 万人となり、2 週ぶりに増加となった。受給者総数の 4 週移動平均は、前週比+750 人の 202 万 4750 人。受給者比率は、前週比+0.1 ポイントの 1.5% だった。

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

10月米耐久財受注(前月比) 4.8% (予想 1.2%・前回 0.4%)
 前回発表の-0.3%から0.4%に修正

10月米耐久財受注[除輸送用機器] 1.0% (予想 0.2%・前回 0.2%)
 前回発表の0.1%から0.2%に修正



出所 : Bloomberg

経済指標データ

◀米耐久財受注▶

	10月	9月	8月	7月	6月	5月
耐久財新規受注	4.8	0.4	0.2	3.6	-4.3	-2.9
輸送機器除く	1.0	0.2	0.0	1.1	-0.3	-0.5
国防関連除く	5.2	1.4	-0.8	2.9	-4.0	-1.6
資本財	12.0	2.2	-0.1	10.7	-12.4	-6.0
輸送機器	12.0	0.7	0.6	8.9	-11.5	-7.1
総受注残	0.7	-0.2	-0.2	-0.2	-0.9	0.0
総在庫	0.0	0.0	0.1	0.4	-0.1	-0.4
総出荷	0.1	0.8	0.0	0.0	0.4	-0.3

10月の米耐久財受注は、市場予想の+1.5%を上回る+4.8%の2393億6700万ドルと4ヵ月連続のプラスとなり、昨年10月以来の大きな増加率となった。輸送機器を除いた受注は+1.0%となった。民間航空機、国防関連の航空機の受注が大きく伸びたことや、資本財の受注増も押し上げ要因となった。

- ①輸送機器は+12.0%と昨年10月以来の伸びとなり、民間航空機が+94.1%、国防関連の航空機が+33.1%の大幅なプラスとなり、自動車・同部品は-0.6%となった。
- ②輸送機器以外では、一般機械が+0.2%、電算機・電子製品が+0.9%、電機・家電が+2.3%、一次金属は-0.1%となった。
- ③資本財は+12.0%となり、資本財から国防関連を除いた受注は+14.5%、民間設備投資の先行指標となる非国防資本財から航空機を除いたコア受注は+0.4%と2ヵ月ぶりのプラス、国防関連は-3.7%。
- ④耐久財全体の出荷高は+0.1%、受注残高は+0.7%、在庫高は横ばいだった。

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

3Q メキシコ GDP (季調前/前年比) 2.0% (予想 2.0%・前回 2.0%)

3Q メキシコ GDP (季調済/前期比) 1.0% (予想 1.0%・前回 1.0%)



出所 : Bloomberg

指標結果データ

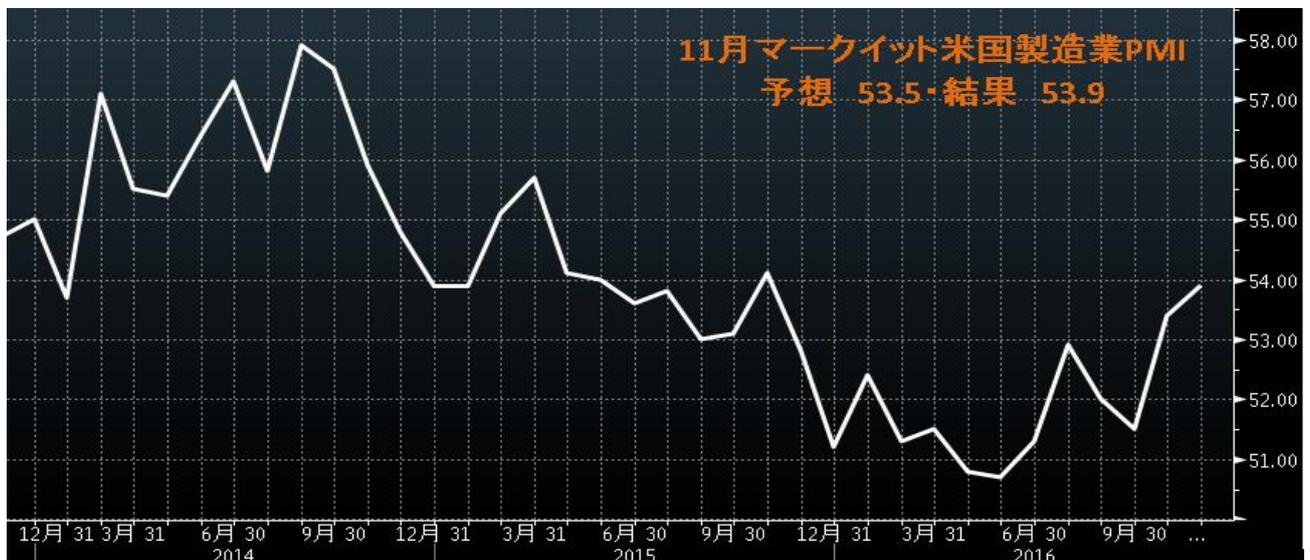
◀メキシコ GDP▶

	3Q	2Q	1Q	4Q	3Q
前年比・季節調整前	2.04	2.58	2.26	2.45	2.80
前期比・季節調整済み	0.99	0.06	-0.47	0.45	0.56

23 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

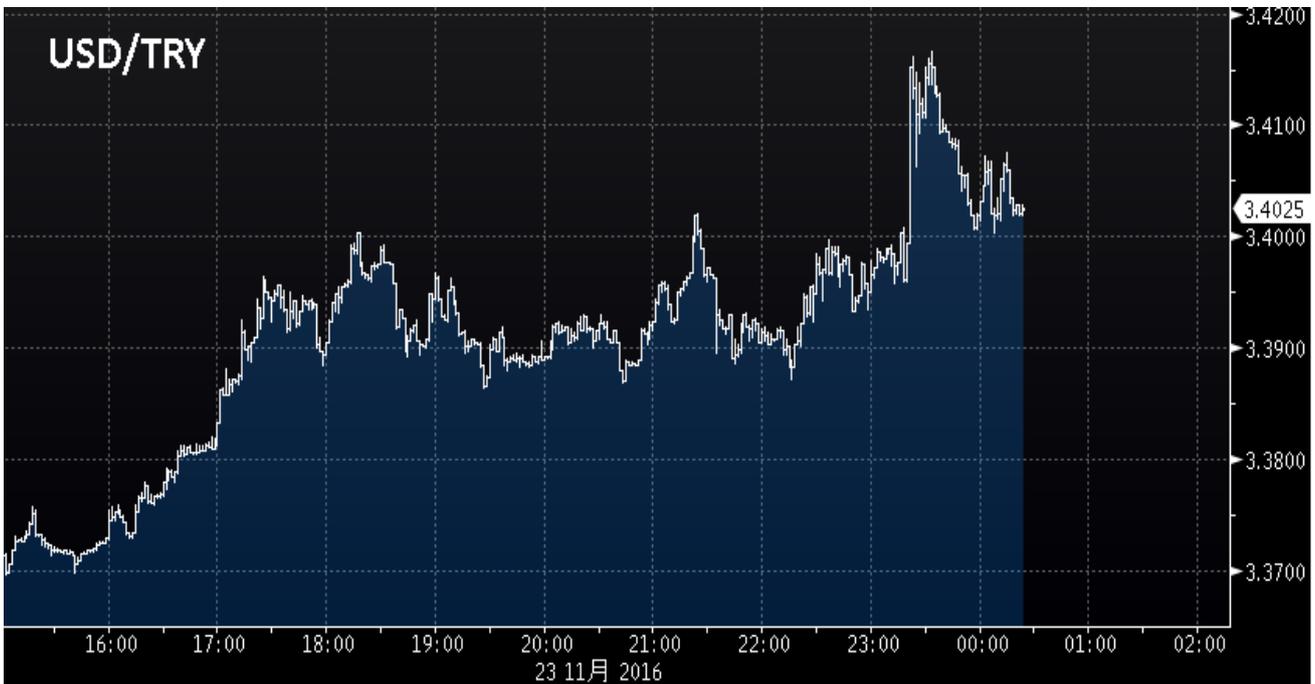
11月マーケット米国製造業 PMI 53.9 (予想 53.5・前回 53.4)



出所 : Bloomberg

23 : 50

トルコのエルドアン大統領は銀行に対し、金利を妥当な水準に引き下げよう呼び掛けたことを受けて、トルコ・リラは対ドルで下落となり、最安値を更新した。



出所 : Bloomberg



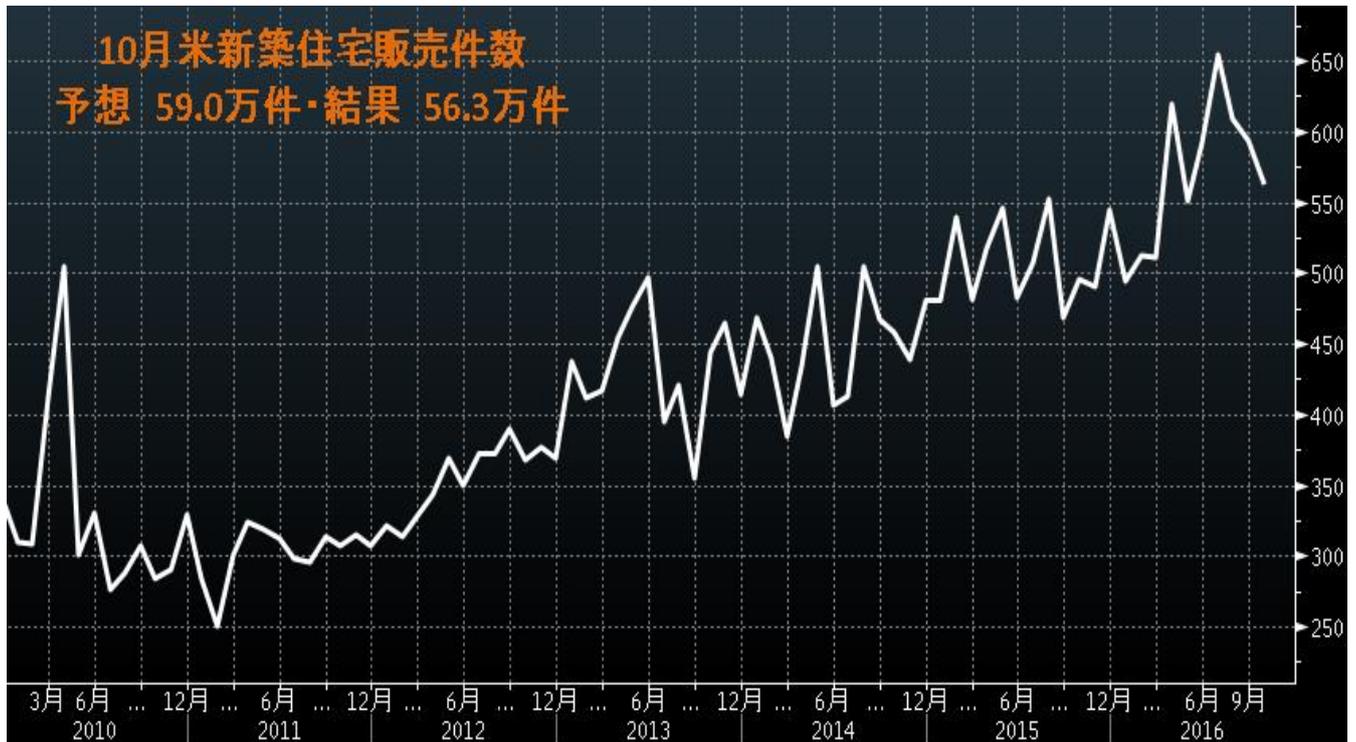
出所 : Bloomberg

0:00

◀ 経済指標の結果 ▶

10月米新築住宅販売件数 56.3万件（予想 59.0万件・前回 57.4万件）
 前回発表の59.3万件から57.4万件に修正

10月米新築住宅販売件数（前月比） -1.9%（予想 -0.5%・前回 1.2%）
 前回発表の3.1%から1.2%に修正



出所：Bloomberg

経済指標データ

◀ 新築住宅販売 ▶

	10月	9月	8月	7月	6月	5月
販売戸数	56.3	57.4	56.7	62.2	55.8	56.6
前月比 (%)	-1.9	1.2	-8.8	11.5	-1.4	-0.7

(万件)

	10月	9月	8月	7月	6月	5月
北東部	3.0	3.3	2.4	3.7	2.8	3.2
中西部	6.3	7.3	6.7	7.9	7.5	7.3
南部	32.2	33.2	33.3	36.4	32.1	31.9
西部	14.8	13.6	14.3	14.2	13.4	14.2

(万件)

10月の米新築住宅販売件数は、年率換算で前月比-1.9%の56.3万件と2ヵ月ぶりに減少した。前年同月比では+17.8%。市場の住宅在庫は、前月比+2.9%の24.6万件、販売に対する在庫の比率は5.2ヵ月と前月から0.2ヵ月分上昇し、適正水準とされる6.0ヵ月を引き続き下回った。地域別では、西部が+8.8%、中西部は-13.7%、北東部は-9.1%、南部は-3.0%となった。販売物件の中間価格は、前月比+3.1%の30万4500ドル、前年同月比では+1.9%。平均価格は前月比-2.5%の35万4900ドル、前年同月比では-3.3%。

0:00

◀ 経済指標の結果 ▶

11月ミシガン大学消費者信頼感指数 93.8 (予想 91.6・前回 91.6)



出所：Bloomberg

経済指標データ

◀ミシガン大学消費者信頼感指数▶

	11月速報	11月確報	10月	9月	8月	7月	6月
消費者信頼感	93.8	91.6	87.2	91.2	89.8	90.0	93.5
景気現況指数	107.3	105.9	103.2	104.2	107.0	109.0	110.8
消費者期待指数	85.2	82.5	76.8	82.7	78.7	77.8	82.4
1年インフレ	2.4	2.7	2.4	2.4	2.5	2.7	2.6
5年インフレ	2.6	2.7	2.4	2.6	2.5	2.6	2.6

11月の米ミシガン大学消費者信頼感指数の速報値は93.8と11月の速報値から2.2ポイント上昇し、前月比では6.6ポイント上昇、5月以来半年ぶりの高水準となった。現状指数は107.3と速報値から1.4ポイント上昇、前月から4.1ポイント上昇、4ヵ月ぶりの高い水準となった。先行指数は、85.21と速報値から2.7ポイント上昇し、前月から8.4ポイント上昇した。1年後のインフレ期待は2.4%で速報値から0.3ポイント低下、5年後のインフレ期待は2.6%で速報値から0.1ポイント低下した。

0:30

◀EIA米週間在庫統計▶

原油在庫・・・125万バレル減少
 ガソリン在庫・・・232万バレル増加
 留出油在庫・・・32.7万バレル増加
 クッシング原油在庫・・・8.7万バレル減少

1:30

◀米財務省7年債入札▶

最高落札利回り・・・2.215% (前回 1.303%)
 最低落札利回り・・・2.041% (前回 1.535%)
 最高利回り落札比率・・・1.80% (前回 23.26%)
 応札倍率・・・2.68倍 (前回 2.49倍)

◀ NY 債券市場 ・ 午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、10月の米耐久財受注や11月の米ミシガン大消費者信頼感指数が市場予想を大きく上回る結果となったことを受けて、今後の利上げペースが速まるとの警戒感が広がり、売りが優勢となった。米政策金利の動向に敏感な2年債利回りは一時1.15%まで上昇し、2010年4月以来約6年7ヵ月ぶりの高水準となった。また、米長期金利の指標となる10年債利回りは2.42%まで上昇し、2015年7月以来約1年4ヵ月ぶりの高水準となった。

午前の利回りは、30年債が3.07%（前日3.00%）、10年債が2.40%（2.31%）、7年債が2.21%（2.12%）、5年債が1.87%（1.78%）、3年債が1.42%（1.35%）、2年債が1.14%（1.09%）。

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、反落となった。英FT100指数は、英国の財務相による財政演説をにらみながらの神経質な動きが続き、独DAX指数は欧州企業の業績先行きへの警戒感で売られた。



出所：Bloomberg

4:00

FOMC 議事録

- ・「利上げは比較的早期に適切になると大半が判断」
- ・「12月利上げは当局の信頼性にとって重要と一部が指摘」
- ・「雇用オーバーシュートの利点を一部当局者が指摘」
- ・「労働市場は完全雇用あるいはそれに近いと一部が判断」
- ・「かなりのスラック(需給のたるみ)が残っていると幾人かが指摘」
- ・「金利が下限に近いことに留意するよう数人が指摘」

◀ NY 金市場 ▶

NY金は、中心限月が前日比21.90ドル安の1オンス=1189.30ドルで取引を終了した。

NY金は、10月の米耐久財受注の大幅増加を受けてドルが主要通貨に対して上昇したため、ドルの代替資産とされる金の売りが広がった。また、12月に米国が追加利上げに踏み切るとの見方も圧迫材料となった。終値ベースでは、2月上旬以来、約9ヵ月半ぶりの安値水準となった。

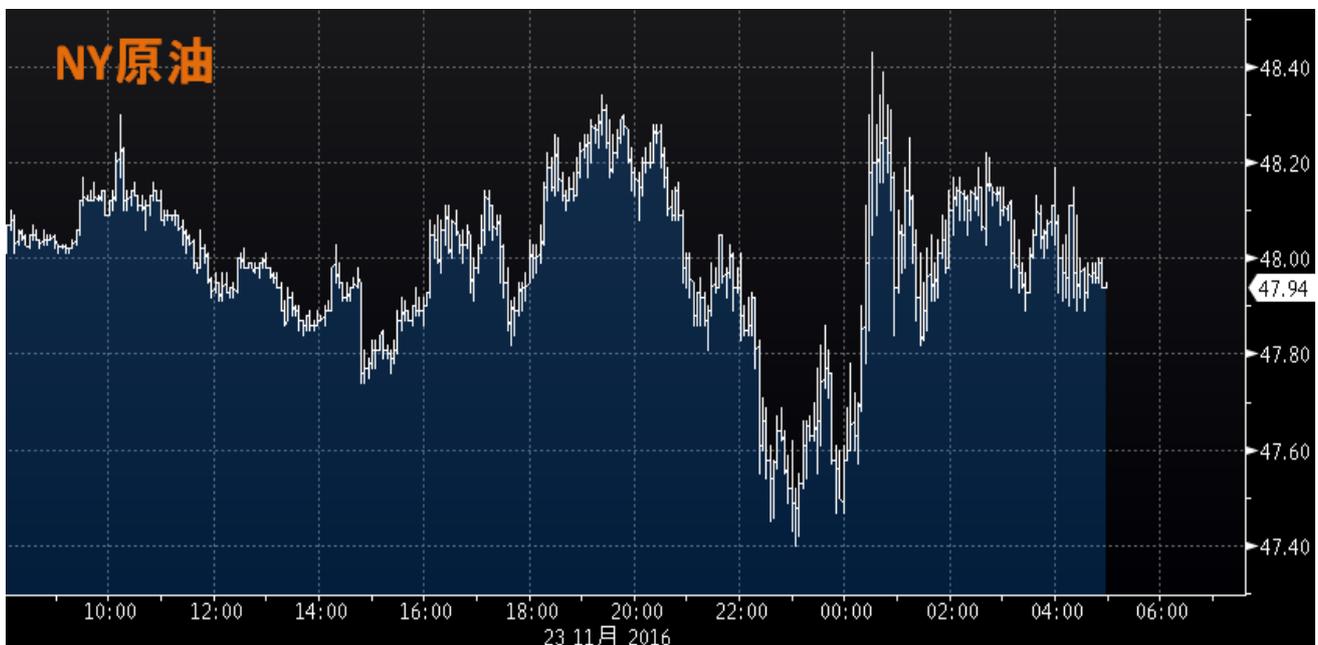


出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.07 ドル安の 1 バレル=47.96 ドルで取引を終了した。

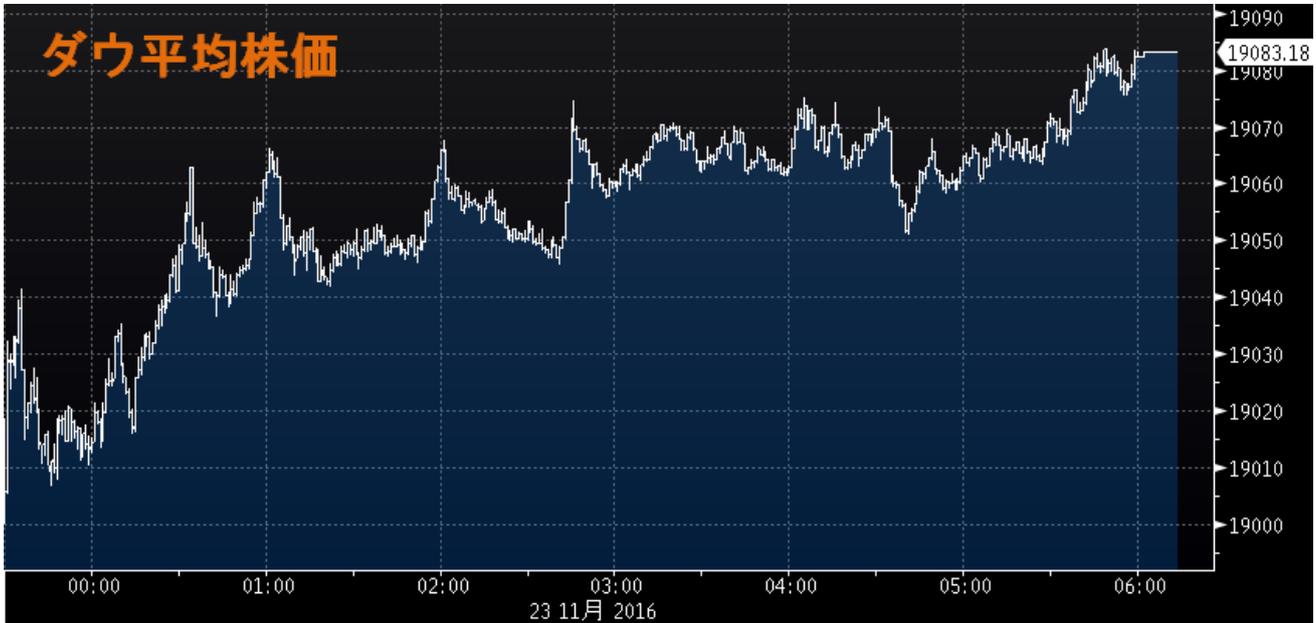
NY 原油は、OPEC が来週の定時総会で原油の減産を正式決定できるかどうか不透明感が根強く、売りが優勢となった。ただ、米石油統計で、原油在庫が市場予想に反して減少したことから買い戻しも入り、下げ幅は限定的となった。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、米経済指標が堅調な結果となったことを受けて買いが入る一方、感謝祭休暇を控えて利益確定の売りも出たことから、序盤は売り買い交錯するもみ合いの動きとなった。トランプ次期米大統領が掲げる大型減税や規制緩和などの政策で景気浮揚が見込まれるとの思惑が引き続き材料視された。特に、大企業で構成されるダウ平均株価は堅調な動きが続き、3営業日連続で最高値を更新する動きとなった。また、S&P500は小幅高となり、終値ベースの最高値を更新したが、ナスダックは小幅安となった。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、米国の主要な経済指標が堅調な結果となったことや、米国の12月の利上げ期待を背景に、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなった。また、原油や株価が上昇したことも影響し、クロス円も堅調な動きとなった。ドル/円は、113円台手前まで上昇し、3月29日以来の高値を付ける動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。